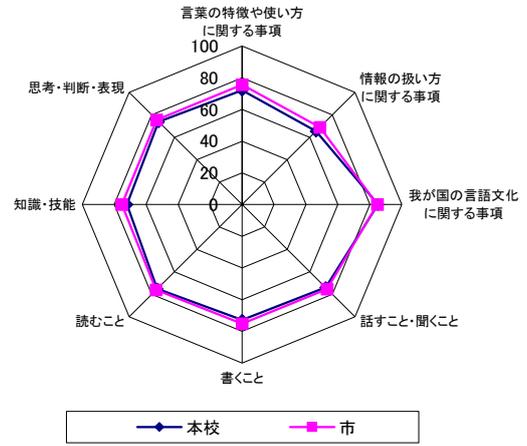


宇都宮市立雀宮中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使いに関する事項	72.1	75.6	66.5
	情報の扱い方に関する事項	65.5	69.0	62.0
	我が国の言語文化に関する事項	85.1	84.7	78.2
	話すこと・聞くこと	74.0	75.3	69.4
	書くこと	72.8	75.2	65.1
	読むこと	75.2	76.2	68.8
観点別	知識・技能	72.1	75.3	66.7
	思考・判断・表現	73.9	75.6	67.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使いに関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の平均を3.5ポイント下回った。 ○小学校で学習する漢字の書き取りについて「危険」の正答率が83.9%で市の平均を3.5ポイント上回っている。 ○助動詞についての理解では正答率が89.3%で市の平均を0.6ポイント上回っている。 ●第3学年までに学習する漢字の読み取りでは「欺く(あざむく)」の正答率が66.7%で市の平均を6.1ポイント下回っている。 ●敬語の理解では正答率が63.7%で市の平均を9.9ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習及び小テストを繰り返し行って知識の定着を図る。 敬語の理解について日常生活の様々な場面で言葉遣いに注意させ、その都度正しい言葉の使い方を促す。 文法事項について、生徒が既習事項を理解できているか確かめるために、定期的にミニテストを行う。そのうえで、生徒が苦手としている内容を把握し、課題として重点的に指導していく。
情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の平均を3.5ポイント下回った。 ○情報と情報との関係について理解し、論理の展開の仕方を捉える問題では正答率が78.0%で市の平均を1.0ポイント上回っている。 ●情報と情報との関係について理解し、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する問題では正答率が53.0%で市の平均を7.9ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った情報を的確に表現する「書く」「話す」場を授業内で多く設けていく。 自分の考えを簡潔にまとめて表現する課題に取り組ませる。
我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の平均を0.4ポイント上回った。 ○現代語訳を手掛かりに古典を読む問題では正答率が85.1%で市の平均を0.4ポイント上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 古典の学習について、歴史的仮名遣いの知識が正しく備わっているかをはかるため、定期的にミニテストを行ったり単元テストの折に入念に履修するなど工夫する。また、古典作品への興味・関心を促すよう、授業展開を工夫する。
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の平均を0.7ポイント下回った。 ○自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している問題では正答率が67.9%で市の平均を0.4ポイント上回った。 ●自分の考えを明確にし、論理の展開を考えて話している問題では正答率が65.5%で市の平均を3.1ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取りテストの実施回数を増やし、メモを取りながら重要な部分やおおまかな内容が正確にとらえられる力を養うよう工夫する。また良いメモの例などを挙げ、具体的にどうすれば正確に聞き取ることができるのかを示す。 聞き取った内容をもとにして、自分の考えを述べるができる力を養うため、授業の中や日常生活の中でもメモを取って内容を聞き取る習慣がつくよう声かけを行う。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の平均を2.4ポイント下回った。 ○自分の考えを明確にして書いている問題では正答率が82.7%で市の平均を0.5ポイント上回った。 ●情報と情報との関係について理解し、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している問題では正答率が53.0%で市の平均を6.9ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えとその根拠を明らかにして文章を書く力を養うため、段落や接続詞を効果的に書くことができるように、段階的な授業展開を工夫する。 書いた文章を仲間同士で確認し合ったり、評価し合ったりする時間を設け、論の展開や句の正誤性を確かめられるように促す。また、様々な視点から互いの文章を読むことで、より説得力のある文章を書く力を養う。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の平均を1.0ポイント下回った。 ○情報と情報との関係について理解し、論理の展開の仕方を捉えている問題では正答率が78.0%で市の平均を1ポイント上回った。 ○文章の表現の仕方について評価している問題では正答率が79.2%で市の平均を2.5ポイント上回った。 ●文章の構成や論理の展開について評価している問題では正答率が75.0%で市の平均を4.4ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の展開に即して内容を読み取ることができる力を養うため、文章を要約する作業を授業の中で行う。また、要約した文章を仲間同士で読み合う時間を設け、どの生徒にも要点を把握して読む力が備わるよう工夫をする。 情景描写に着目して文章を読む習慣がつくよう、授業で文学に触れる際には特に支援をする。また、説明的な文章では、接続表現に着目して読み進めるよう、授業内でその都度注意を促す。